

札幌アイヌ工芸作家による展示販売会

「SAPPORO AINU ARTIST 2022」開催のご案内

札幌在住のアイヌ工芸作家による「顔の見えるミュージアム&ショップ」をコンセプトに、2/22(水)～2/28(火)に札幌駅前地下広場(チ・カ・ホ)の北一条イベントスペースでアイヌ工芸品展示及び販売会を開催します。

▼会場イメージ



特設サイト「札幌アイヌアーティスト/SAPPORO AINU ARTIST」はこちら

 <https://www.city.sapporo.jp/ncms/shimin/sapporo-ainu-artist/>

【担当】北海道博報堂 游・佐々木
電話：011-251-0177

■各種出店内容

◎アイヌ衣装の試着会

本年8月、10月、12月にも同販売会を開催し、多数ご来場頂きました。今回の開催ではこれまで来場者からのご要望が多かった、アイヌ衣装の試着会を特別に開催します。アイヌの衣装は手間暇をかけて縫った貴重なもので、この衣装を身に着けることでよりアイヌ文化に親近感と興味を持っていただければ幸いです。

展示やショッピングを楽しむほか、アイヌ文化に直接触れてみてください。無料でご体験いただけます。是非お越しください。



※写真は実際試着の衣装と異なる場合がございます。

◎アーティストのパネル展示・販売会

「顔の見えるミュージアム&ショップ」をコンセプトに、作品展のように作家のパネルを各販売拠点に展示します。また、期間中延べ250種類の商品が展示され、アイヌ文様の刺しゅうが施されている「がま口」や「コースター」などの小物から、タペストリーやアイヌ伝統着物まで様々な商品を取り揃えています。



◎実演・ワークショップの開催

作家が講師となり、来場者向けに実演や簡単な製作体験を実施いたします。作家との交流を介して、参加者がよりアイヌ工芸品に対する興味を持っていただけるようなワークショップとなっております。チカホ会場開催期間中の平日14:00~17:00は実演販売を行い、土曜日と日曜日の13:00~17:00に実施いたします。参加料無料で、来場者の方なら誰でもご参加いただけます。

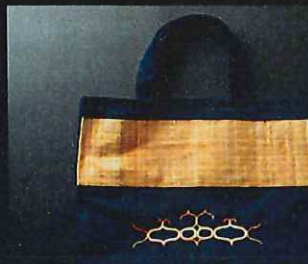
◎特設ホームページの開設

【URL】 <https://www.city.sapporo.jp/ncms/shimin/sapporo-ainu-artist/>



■アーティスト紹介

～アイノプリ工芸作家～ アート・ひろ



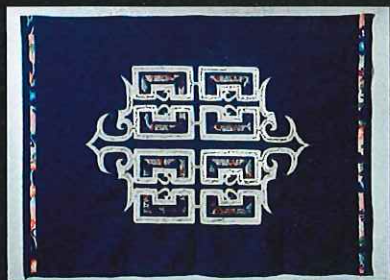
二風谷にてアイノ（アイヌ）の両親のもとに生まれ、幼少期から日常生活の中でアイノプリ（アイヌ文化）に触れながら過ごす。ピリカシムカ代表や職業訓練指導員（民芸・工芸）講師を担い、アイノプリの伝承者として国内外で活躍している。

～アイヌ文化表現集団～ アイヌ・アート・プロジェクト



2000年イタオマチブ（板綴り船）の複製に携わった3名で結成し、カナダ、ハワイでカヌー制作も行った。現在は家族、友人も加わり、メンバーはそれぞれアイヌのアーティストであり、様々な作品を制作し展覧会等を開き、その他、国内外でアイヌの音楽活動を行っている。

～伝統工芸作家～ 阿部 紘美



三上マリ子（故人）先生にアイヌ刺しゅうを学び、アイヌ民族文化財団アドバイザー、札幌市アイヌ文化体験講座と札幌市市民参加型アイヌアートモニュメント設置事業の講師を務める。令和2年にウポバイ展示作品を制作し、北海道アイヌ協会認定優秀工芸師となる。

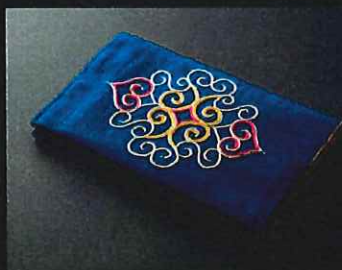
■アーティスト紹介

～伝統工芸作家～ 石井 美香



平成16年に職業訓練指導員免許を取得、アイヌ民族文化財団アドバイザーとなる。平成17年に北海道アイヌ協会認定優秀工芸師となる。平成18年に全国伝統的工芸品展新人賞を受賞、平成26年にはアイヌ民族文化財団伝統工芸家として認定。令和2年にウポボイ展示作品を制作する。

～伝統工芸作家～ 貝澤 竹子



二風谷出身で札幌市在住。幼少の頃から祖母や母に教わり、アットゥシ織や糸作りに携わる。現在もアットゥシ織をはじめ、編み袋、花ござ、刺しゅう作品まで幅広く手がけている。北海道アイヌ協会認定優秀工芸師、アイヌ民族文化財団伝統工芸家として認定されている。

～重要無形民俗文化財保護団体～ 札幌ウポボ保存会



1979年に結成され、1984年に国の重要無形民俗文化財の指定を受けた8団体の1つ。2009年にはユネスコ無形文化遺産に「人類の無形文化遺産の代表的な一覧」に登載。道内各地より札幌市に移住した多様なルーツをもつアイヌが多く在籍しており、活動の輪が広がっている。

■アーティスト紹介

～伝統工芸作家～ 長縄 由加利



平成14年に職業訓練指導員免許を取得し、アイヌ民族文化財団アドバイザーとなる。平成31年まで、札幌市アイヌ文化体験講座と札幌市市民参加型アイヌアートモニュメント設置事業の講師を務め、令和2年にはウポポイ展示作品を制作する。

～刺しゅう作家グループ～ pirka nonno



2021年に発足し、主にマスク、巾着、トートバッグなどを制作している。3人の小さなグループで各々仕事を持っていることから、作品数は限られている。アイヌ文様をあしらった雑貨を通じて、アイヌ民族に少しでも関心と好意を持って欲しいという想いを胸に活動している。

～刺しゅう作家～ 藤岡 千代美



20代から活動を始め、刺しゅう歴は30年となる。人の顔と意思を知るため、活動は主に受注制作に絞っている。アイヌ文化に触れ、当時の思いを感じながら過ごす日々の生活が、アイヌ刺しゅうの制作意欲となっており、その思いを込めた、唯一無二の作品を作り上げている。

■アーティスト紹介

～刺しゅう作家～ 光野 智子



平取町で生まれ白老町で育つ。母からアイヌの血を受け継いでいる。職業訓練指導員免許を取得し、機動職業訓練織布科講師を務める。平成18年から令和3年まで名古屋市中区栄にて伝統工芸展示「ピリカメノコ展」を開催した。現在、アイヌ文化伝承者として活動している。

～木彫作家～ 吉村 政彦



鶴川町で生まれ幼少期まで過ごす。その後、札幌市に転居し、札幌アイヌ協会に入会したことをきっかけにもう一度木工芸を始めた。2018年に吉村工房を立ち上げ、現在、木彫作家として活動をしている。